

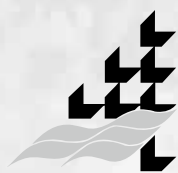


建築とっとり

No.104

2024.3





建築士事務所憲章

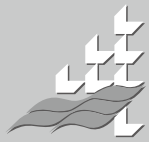
建築士事務所は、建築や環境が文化の形成に占める重要な意味を認識し、社会の健全な進歩と発展に寄与します。

- 誠意をもって設計と監理の業務を遂行し、建築主の期待に応えます。
- 健康で快適な生活環境の創造と、安全安心、持続可能で良質な資産の形成を図ります。
- 自己研鑽を怠らず、職業倫理を高め、法令遵守と公益の立場に立って最善を尽します。
- 設計意図の理解を施工者に求め、公正に工事を監理します。
- 互いに信頼を深め、連帯の精神をもって職務を全うします。

平成20年5月

一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

一般社団法人 鳥取県建築士事務所協会



CONTENTS

巻頭言 ■ 伊木 隆司 米子市長 「住んで楽しいまち よなご」を目指して	4
メッセージ ■ 井手添 誠 会長	5
支部の動き ■ 塚田 隆 副会長（東部担当） 藤原 賢治 副会長（中部担当） 吉田 成年 副会長（西部担当）	6 7 8
委員長の挨拶 ■ 足立 収平 総務企画委員会委員長 丁田 勝功 広報編集委員会委員長 来田 信浩 業務技術委員会委員長 藤原 賢治 木造住宅耐震診断委員会委員長	9 10
■ 令和6年度 鳥取県・（一社）鳥取県建築士事務所協会 との意見交換会	11
■ 令和4・5年度 役員名簿 委員会・部会構成員	12
日事連年次功労者表彰受章 ■ 霜村 将博 株式会社白兔設計事務所	13
特集 ■ 鳥取県立美術館	14-19
特集 ■ 第45回建築士事務所全国大会（鳥取・島根大会）	20-23
会員作品紹介 ■ 株式会社白兔設計事務所 美保建築士事務所	24 25
賛助会員のページ ■	26-29
事務局だより ■ 会議報告、会員の異動、行事予定	30-31



表紙

着工中の鳥取県立美術館

「住んで楽しいまち よなご」を目指して



米子市長
伊木 隆司

1. はじめに

一般社団法人鳥取県建築士事務所協会の皆様におかれましては、日頃より建築物の設計監理業務の適正な実施や技術力の研鑽に加え、建築業界の発展並びに地域貢献活動にご尽力いただいておりますことに、深く敬意を表します。また、昨年10月には、「第45回建築士事務所全国大会（鳥取・島根大会）」が米子市で盛大に開催されましたことを心からお祝い申し上げます。

さて、昨年は、3年間続いたコロナ禍が一段落した一方で、一昨年から続く国際情勢の混迷による資材価格の高騰、供給量不足、電力・ガス・食料品など、物価の全般的な上昇により、私たちの生活は大きな影響を受けました。本市におきましては、市内における消費を喚起し、地域経済の活性化を図るとともに、物価高騰の影響を受けている生活者や事業者・飲食店を支援するため、「キャッシュレスで応援！よなごプレミアムポイント還元事業」によるポイント還元キャンペーンを実施するなど、地域経済の活性化を図ってまいりました。本年も、社会経済活動の一層の活性化を図るため、諸施策を実施してまいります。

2. 歩いて楽しいまちづくり

令和5年7月に、がいなロード（米子駅南北自由通路）と駅南広場が完成し、鉄道をはじめ、バス、タクシーなどの乗り換えや駅の南・北両地区の利便性、歩行者の回遊性が向上し、中心市街地の一体的な発展に寄与するものと大いに期待しております。

今後のさらなる取組として、JR米子駅周辺や角盤町エリアでのウォーカブル事業の推進、米子港周辺の整備、さらには公共交通の利便性向上を図ることなどにより、山陰の交通の結節点である「新商都米子」にふさわしい「歩いて楽しいまちづくり」を進めてまいります。

3. 中海・宍道湖・大山圏域としての地方創生

中海・宍道湖・大山圏域は人口60万人超を擁する、日本海側における有数の人口集積拠点です。圏域としての一体感の高まりに合わせて各地域がお互いに補完していくことで、よりバランスのとれた産業構造を基盤としながら多様な都市サービスや生産活動を展開することが可能となります。そのためにも道路整備は重要な要素であり、昨年は、かねてより国に要望していた米子・境港間高規格道路の実現に向けた動きとして、国土交通省が課題整理をするための調査対象とすることを決定し、ようやく最初の一步を踏み出すことができました。引き続き、早期事業化に向けて、国、県、関係自治体と連携を図りながら取組を進めることで、地域における一層の機運醸成にもつなげてまいりたいと考えます。

そして、米子・境港間高規格道路を含む、中海・宍道湖圏域の8の字ルートを巡っては、昨年8月に官民による整備推進会議を立ち上げ、シンポジウムの開催や、鳥取・島根両県知事とともに国への要望を展開するなど精力的に活動してまいりました。今後、引き続き主要な道路整備を推進してまいります。

4. 結びに

学校、体育館、保育所など、私たちの生活を支える公共建築物は徐々に老朽化が進み、人口減少への対応と併せて適切に更新を図らなければなりません。一方で受注側の事業者の処遇改善も急務となっており、市発注工事での週休2日制の対象拡大、工期の見直し、資材価格高騰対策、工事書類の簡素化などの取組についても、しっかりと努力してまいります。

社会経済情勢の急変など、社会が目まぐるしく変化する中ではありますが、米子市のさらなる発展を目指し、本年を、未来につながる活気のある年にしてまいりたいと考えますので、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶いたします。



会長メッセージ

会長 井手添 誠

令和5年度は鳥取県建築士事務所協会にとって、大きなイベントがありました。鳥取会と島根会の共管により開催した、「第45回建築士事務所全国大会(鳥取・島根大会)」です。大会テーマを「神話のふるさと 悠久の山陰からの挑戦」、大会スローガンを「地方から環境新時代を考える」として開催することができました。開催にあたり関係官庁や関連団体の皆さまにご支援をいただきましたこと、この場を借りましてお礼を申し上げます。

大会は、令和5年10月11日の米子コンベンションセンター・ビッグシップへの舞台装置搬入とセッティングを始まりとして、12日は実行委員会によるリハーサルが行われました。同日は並行して日事連児玉耕二会長による伊木隆司米子市長の表敬訪問を行いました。15時から「青年話創会2023鳥取・島根大会」を米子ワシントンプラザにて開催しました。テーマは「八百万の神が集う地で想いを紡ぐ ～そして全国へ～」とし、101名の会員と23名のオブザーバーの参加がありました。

13日は大会当日です。朝8時に実行委員会メンバー全員が集合し決起集会を行った後、それぞれの会議が開催されていきました。会議以外にも「鳥取・島根県物産展」「日事連建築賞受賞作品展示」など開催し、多くのメンバーの来場がありました。

10時には、昨年の熊本大会でキックオフ会が行われ、この大会より正式な日事連の会議となった「女性交流会2023鳥取・島根大会」が始まりました。テーマを「生みだす建築、はぐくむ人 ～今、私たちが伝えていきたいこと～」とし、59名の参加により開催しました。11時より日事連正副会長他による記者発表を行った後、11時30分より「日事連・OBの会定期総会」を23名の参加により開催しました。

13時には多目的ホールで基調講演が始まりました。(株)内藤廣建築設計事務所代表取締役の内藤廣氏により「グラントワから考える山陰からの挑戦」をテーマに講演をしていただきました。14時45分からはいよいよ大会式典の開催です。石見神楽のオープニングからはじまり、1241名の参加により開催しました。

大会式典もほぼ時間通り進行され、「私たち建築士事務所は、持続可能な開発目標と脱炭素社会実現に向け、建築技術の向上を図り、次世代に逼進していくことをここに宣言する。」とする大会宣言を採択し終了となりました。

18時から、会場をANAクラウンプラザホテル米子に移動し記念パーティとなりました。参加していただく会員皆さまは徒歩移動としておりましたが、天候にも恵まれ予定時刻通り開催できました。パーティは立食形式としましたが参加者は377名と会場のキャパいっぱいの中開始となりました。会場ではアトラクションとして安来節保存会による安来節・どじょうすくい踊りなど行いましたが、お捻りが出るなど盛り上がりました。当初の予定では平井伸治鳥取県知事は大会式典のみの参加予定でしたが、急遽予定を変更され参加していただき、和気藹々としたパーティとなりました。

大会運営に際し、正会員及び事務所スタッフ、賛助会員の皆様など、本当に多くの人に参加していただきました。今までの大会と異なり、手作り感のある大会となり成功裡に終了することができました。皆さまのご尽力に対しまして改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

支部長（東部担当） 塚田 隆



「賛助会員と共に」

鳥取県建築士事務所協会は、今年度正会員117社 賛助会員108社により構成されており、日々様々な活動・運営を行っています。賛助会員会(賛助会)は正会員と賛助会員相互の情報交流と業務の改善向上を図り、本会の事業運営円滑化のために設立されました。

賛助会は、建築に携わる多種・多様の企業から構成されており、日頃より正会員の設計事務所への技術支援、新商品の情報提供としての役割を担っています。

東部支部(一木会)では隔月に開催されます例会において、賛助会員各社のPR機会の場を設けており今年度は計7社の参加をいただきました。私達正会員には、賛助会員が情報交換の場としてのプラットフォームが、順調な

業務遂行に役立っています。又、懇親の場となっています。

今年度は、米子市の米子コンベンションセンターにて「神話のふるさと、悠久の山陰からの挑戦」を大会テーマに、第45回建築士事務所全国大会(鳥取・島根大会)を開催されました。全国の建築士事務所協会会員、来賓を合わせ1200余名の参加を得て無事に成功裏に終わることが出来ました。それを支えてくださったのが鳥取・島根県の正会員と賛助会員総勢300余名です。スタッフとしてのガンバリがあつてこそ、と思います。誠にありがとうございました。この場をお借りして感謝申し上げます。この大会で培った両者の輪がこれからの協会活動に生かされますことを祈念したところで文章を閉じたいと思います。

一木会 令和5年度の活動報告

■第1回 一木会例会

- 開催日 令和5年4月6日(木)午後5時40分～
- 場所 しいたけ会館 対翠閣
- 参加人数 48名
- 内容 1) 委員会報告
2) 全国大会について
3) 懇親会



■一木会ゴルフ同好会

- 開催日 令和5年6月3日(土)
- 場所 旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部 白兔コース
- 参加人数 21人



■一木会総会

- 開催日 令和5年6月8日(木)午後5時40分～
- 場所 しいたけ会館 対翠閣
- 参加人数 35名
- 内容 1) 委員会報告
2) 総会
3) 懇親会



■一木会釣り同好会

- 開催日 令和5年7月14日(金)
・7月21日(金)
- 場所 鳥取港沖
- 参加人数 延べ16人



■第2回 一木会例会

- 開催日 令和5年8月3日(木)午後5時30分～
- 場所 しいたけ会館 対翠閣
- 参加人数 41名
- 内容 1) 委員会報告
2) 全国大会について
3) 納涼会



■一木会ゴルフ同好会

- 開催日 令和5年11月18日(土)
- 場所 旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部 湖山コース
- 参加人数 16人



■第3回 一木会例会

- 開催日 令和5年12月7日(木)午後4時～
- 場所 しいたけ会館 対翠閣
- 参加人数 35名
- 内容 1) 委員会報告
2) 賛助会 企業PR
3) 忘年会



■第4回 一木会例会

- 開催日 令和6年2月1日(木)午後5時～
- 場所 しいたけ会館 対翠閣
- 参加人数 40名
- 内容 1) 委員会報告
2) 賛助会 企業PR
3) 新年会





昨年はコロナウイルス感染症も5類となり、例会での講習会、親睦会も行いう事が可能となり、会員間の交流も盛んとなりうれしい限りです。

世界情勢に目を向ければウクライナ侵攻、イスラエルとハマスの紛争のニュースを見る度に日本で当たり前の生活ができるありがたさを改めて感じる1年でした。

しかし、国内では1月1日に起きた、能登地方の地震は建築業界にも大きな衝撃を与えました。原形をとどめない家屋、そのままの形で倒壊したビルなどニュースを見る度、耐震改修の必要性を痛感しています。2月下旬時点で今なお避難生活を余儀なくされている方も多くおられ一日も早く普段通りの生活に戻りますようお願いしています。

10月13日には鳥取・島根共管による全国大会も成功裏に終わり、山陰の行動力と結束力を全国の会員に示すことができたのではと思います。

中部支部では久しぶりに倉吉市との意見交換会を開催しました。PFI事業については今後検討しますという回答をいただきました。その他、設計納期、工事監理業務の流れ、RIBC導入について等の意見交換し今後も継続してこの会を行う事としました。

建築資材、人件費の高騰、困難な人材確保、法改正により複雑化される業務は益々増える事になりますが、協会としても情報公開をスピーディーに行い、乗り切れるよう努力したいと思っております。

一水会 令和5年度の活動報告

■令和5年度中部支部一水会通常総会

開催日 令和5年5月19日(金)

場所 倉吉シティホテル

参加人数 19名



■建築士事務所協会中部支部、建築士会中部支部 合同ゴルフ大会

開催日 令和5年6月7日(水)

場所 旭国際浜村温泉
ゴルフ倶楽部

参加人数 25名



■6月例会

研修内容 「特定天井における天井落下防止措置について」
講師 パナソニックハウジングソリューションズ株式会社
牛山 充広 氏

開催日 令和5年6月7日(水)

場所 倉吉シティホテル

参加人数 32名



■8月例会

研修内容 全国大会 打合せ会

開催日 令和5年8月2日(水)

場所 渓泉閣

参加人数 37名



■10月例会

研修内容 全国大会 打合せ会

開催日 令和5年10月4日(水)

場所 倉吉シティホテル

参加人数 40名



■建築士事務所キャンペーン

「木の住まいフェア～住まいの無料相談会」

(一社)鳥取県木造住宅推進協議会
中部支部主催「2023木の住まいフェア」にて無料相談会を開催しました。

開催日 令和5年10月20日(金)

場所 新日本海新聞社 中部本社



■12月忘年例会

忘年例会を開催いたしました。今回は三朝にある「旬彩の宿いわゆ」に集まり年末の雑事を忘れ、会員同士今年一年の反省を語り合いながら盛り上がりました。

開催日 令和5年12月6日(水)

場所 旬彩の宿いわゆ

参加人数 37名



■倉吉市建築設計事務所意見交換会

開催日 令和6年2月5日(月)

場所 倉吉市役所本庁舎



■2月例会

研修内容 「建築業界の課題とシステム建築について」
講師 日成ビルド工業株式会社 植原 康一 氏

開催日 令和6年2月19日(月)

場所 倉吉シティホテル

参加人数 31名



副会長（西部担当） 吉田 成年



今年元日に発生した石川県能登地方を震源とする大地震という暗い出来事で幕を開けました。新年を迎え皆が各家庭でのんびりと過ごされていた午後に、全く想像もしていなかった事態に直面し、多くの方が亡くなられ、怪我をされて、住む家も大きく壊れ不自由な避難生活を余儀なくされておられます。特に古い家が多く、石川県輪島市と珠洲市の住宅耐震化率はそれぞれ約45%、約51%だったこともあり、家屋が倒壊し亡くなられた方が死因の約9割を占めたことは、我々建築の仕事をしている者にとって大きな衝撃であり、改めて私達建築士が果たすべき使命の重大さを深く認識いたしました。国・県・各市町村と協力し、我々建築士事務所協会の会員も木造住宅の耐震化に対して耐震診断を行い、補強設計、改修工事へと、少しでもこのような災害を減らすように努めなければなりません。能登地方をみていると、同じような地域に住んでいる気がして私達の住む鳥取が被害を受けてるような感覚にとらわれます。一日も早く復興し、平穏な生活を送ることが出来るよう

からお祈り申し上げます。

さて、昨年は島根県と合同で建築士事務所全国大会を米子市にて開催することが出来ました。

会員・賛助会会員の皆様のお力で良い大会が出来ましたことを改めてお礼申し上げます。

島根県と合同で行ったことにより、島根の会員の皆様とも知り合いになれ、これはこれで良い財産となりました。

また、建築基準法関係では、木造建築物に関する大きな改正が始まり、2025年には原則すべての新築住宅・非住宅に省エネ基準適合の義務付け。建築確認審査の対象となる建築物の規模の見直し、構造規制の合理化、二級建築士の業務範囲の見直し等、とても大きな改正がすぐ目前に迫っています。

これについては、しっかり対応していく準備を整え、混乱の起きないように努めなければなりません。

暗い出来事で始まったこの一年。少しでも良い年になりますように。

山水会 令和5年度の活動報告

全国大会の会場は西部であり、全国大会の各運営部長を西部の役員が担当したこともあり、今年前半は全国大会の成功のため、各会員が頑張りました。

■8月例会

開催日 令和5年8月21日(月)

場所 米子市・シュシュ

参加人数 40名

全国大会各担当部長からの報告等があった後、納涼懇親会を楽しく行いました。

■建築士事務所キャンペーン

開催日 令和5年9月16日(土)

場所 米子産業体育館

米子産業体育館にて住まいの無料相談会を実施しました。会員企業から11人の方に相談員として参加して頂き、住まいの相談の他に、住まいの地盤の無料カルテ作成・お子様向けに室内インテリア作成ソフトを使った自分の部屋の作成などを行い建築相談7件、住まいの地盤カルテ作成約30件、お子様に作って頂いた部屋5部屋でした。

特に、お子様は皆夢中で1時間から2時間じっくり部屋の作成をし、私達プロ顔負けの作品を作られる子供もおられました。



■2023秋の合同ゴルフコンペ

開催日 令和5年11月15日(水)

場所 グリーンパーク大山ゴルフクラブ

築士会西部支部・事務所協会山水会ゴルフ同好会合同コンペに参加して
榎はらぶん 杉原 範行

建築士会西部支部と事務所協会山水会の合同コンペをするようになってから8回目になるとお聞きしました。業界的に重なる会社(人)も多いことから合同の方がより多くの会員様にご参加頂けるのではとの思いからだったそうです。確かに以前に比べて参加者も増え、また最近のゴルフブームも相まって少しずつメンバーの顔ぶれも新しくなってきたように感じています。

そんな中、4、5年前ぐらいから事務局的な役割を木下支部長の下でさせて頂いておりましたが、3年前のコンペで運良く優勝をさせて頂いた時に「毎回幹事役が同じなのはどうか」と嘆きましたら、木下支部長より「じゃあ次回の幹事役は優勝者と準優勝者の2名で仕切ることにしよう」と決まりました。なんだか騙された感じっばいでしたが次の年も私が幹事役をすることになりました…。

ただ、その次の年連覇などできるわけもなく、晴れて島根電工の藤江支社長が優勝され、同時に今回の幹事役に任命されました！(笑) 藤江支社長本当にお疲れさまでした！

私は藤江さんにそれまでのコンペ資料を一切適切お渡しして、幹事役をお譲りしましたので、今回はとても楽しいゴルフができました！ところが…、まさかまさかの出来事が起こってしまい…今回の優勝者が私になってしまいました(;^_^A
 藤江さんの優勝者の名前を呼ぶときの顔があまりにも印象的で忘れることができません！(どんな表情だったかは皆様のご想像にお任せいたします笑)

ということで…次回の「建築士会西部支部・事務所協会山水会ゴルフ同好会合同コンペ」の幹事役を仰せつかりました榎はらぶん杉原範行です(涙)

来年のコンペ、奮ってのご参加お待ちしております！

新設家具の永田均社長！準優勝おめでとうございます！(笑)

あなたも幹事役ですよ!!!



■12月例会

開催日 令和5年12月6日(水)

場所 国際ファミリープラザ

講演会及び忘年会を国際ファミリープラザ会議室とシュシュにて開催しました。

講演会では、日刊建設工業新聞編集委員森安哲史様に「新聞と取材活動」という演題で、日々の建設業界の取材活動を通じて感じたこと、取材の裏話・苦労話などをお話頂き、約50名の参加で賑やかに忘年会を行いました。



総務企画委員会

委員長 足立 收平

昨年の全国大会・鳥取・島根大会に正会員、賛助会員の皆さんの協力を得て、成功裡に終える事が出来ました。改めて感謝申し上げます。

前年は委員会活動も全国大会の準備に傾注していましたが、今後は構成員(会員)の増強等組織の拡充をしていかなければならないと思います。

鳥取会は全国でも組織率は上位にいます。25%位ですが30%を目指し活動します。

また、全国大会の参加、県外研修の企画も行わなければなりません。

昨年の全国大会は島根会との共管で実施しました。これを機会に数年前まで行っていた島

根会との合同例会(年1回)の復活を三役、理事の皆さんと相談の上検討していきたいと思えます。



広報編集委員会

委員長 丁田 勝功

当委員会は、当協会の会報誌「建築とっとり」の企画・発行が主な活動です。

皆様のご尽力により、全国大会(鳥取・島根大会)が無事に開催出来ました。詳細については今回の特集にまとめてありますのでご覧ください。その他に今年度も当委員会の担当である「住まいの無料相談会」を鳥取県木造住宅推進協議会主催の「木の住まいフェア」に参加し実施いたしました。

また、昨年同様に原稿・作品紹介の依頼、および広告掲載にご協力ありがとうございました。

各支部の副委員長、各委員の方々のご協力のもと、残り少ない任期をつとめて参ろうと思っています。

何卒、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



令和4年度より業務技術委員長を仰せつかっております。今回の「建築とっとり」が皆様に届く頃が、任期の2年を全うした時期となります。委員長の新年挨拶というより、退任のご挨拶ですね。

前回は紹介しましたが、当委員会の役割は、県外研修会の開催、各種研修・講習会の開催時の受付・補助、木造住宅耐震診断業務、建築士事務所賠償保険制度への加入促進があげられます。

そのうち県外研修は、昨年10月に米子で開催された「建築士事務所全国大会-鳥取・島根大会」に向けての視察を兼ね、令和4年9月29日～10月1日に熊本大会に参加しました。各自が目的を持つての視察となり、「鳥取・島根大会」の実施に弾みがつきました。今年度は現

時点(令和6年1月)で、3月7日～9日にかけて博多・小倉近辺での開催を企画しており、この号が発刊される頃には無事終了していること

と思います。毎回30名程度の参加者で実施していますが、皆様のご協力でトラブルもなくスムーズな研修が行え、感謝しております。

一方でその他の業務については、事務局・担当会員の皆様にお任せのままという状態で任期満了となってしまいました。業務の性質上、私個人が積極的に参加できるものではないのですが、何かできたのかも…と、反省もしているところです。



昨年の木造住宅耐震診断の件数は令和4年と大きな差はありませんでした。

依然耐震改修まで行うケースは伸び悩んでいます。

しかし、1月1日に発生した能登地方の地震は家屋に甚大な被害があり、倒壊による死者数が多く建築業界には衝撃を与えました。高齢化率が高く耐震診断が進んでいない状況での災害は大きな被害が及ぶことを痛感しました。鳥取県も高齢化率も高く耐震改修率も30%台にとどまっています。

耐震改修の機運を高め、安全な住宅を増やしていくことを発信していく必要を感じています。



意見交換の概要

1. 開催日時：令和6年1月31日(水)13:30～
2. 開催場所：鳥取県庁第2本庁舎9階 第20会議室
3. 出席者

【鳥取県総務部営繕課】

課長：下田 悟
 参事：川口 新二
 課長補佐：衣笠伸一郎、井上 克人
 係長：山本 勇氣、永見 明

【(一社)鳥取県建築士事務所協会】

会長：井手添 誠 副会長：塚田 隆、藤原 賢治、吉田 成年
 東部支部：赤山 渉、南波 一好
 中部支部：長谷川 聖、村中 耕作
 西部支部：松山 久、木下 俊哉
 事務局長：田栗 稔裕

4. 意見交換議題及び概要 **【協】**：建築士事務所協会、**【県】**：営繕課

議題(1) PFI事業について

【県】 WTO案件(22.8億)に該当しないPFI事業については、参加事業者を県内限定とする鳥取方式ローカルPFI(以下、鳥取方式という。)を実施予定としている。県内事業者の参画機会の増加を目的に、参画する事業者数(設計・建築・電気・管工事・維持管理)をそれぞれ一定数以上となるよう「1減」するルールが設定される。例えば、従来建築では2社以上であったところを1社以上からとなる。

【協】 鳥取市にもお願いをしているが、PFIは事業費が10億円以上とされているが、現状は10億円に満たない建築工事に解体工事を含めて10億円以上で発注されている事案が見受けられ不条理に感じる。A、Bクラスの受注機会を増やすためにも、難しいかもしれないが解体とは分けて発注してほしい。

【県】 コスト的には解体と一緒に発注がよい。土地を売る際も解体条件付きで競売にかけることでスムーズに進む。廃棄物・地中埋設のトラブルといった欠点もあるかと思うがそれを踏まえたとしてもメリットはあるため解体を合わせて事業を拡大したいと考えてしまう。解体を別発注することでコストダウンにはつながらないが、受注機会が増えると思う。意見があったことは認識させていただきたい。

【協】 PFIの仕組みについて、施工段階に相談できる技術者がいないため相談体制を作してほしい。極端にいうと素人相手と相談している状態で、担当者は相当苦労したと聞いている。県側も技術者を配置するなど配慮してほしい。また鳥取方式について、鳥取県のPFI事業を紹介できる資料を作成し市町村へPRいただくと協会側も鳥取方式でしてほしいと説得する材料にもなるのでよろしくお願いたい。

いる。そこが「予定価格があいまい」と言われている要因と思われる。

【県】 そのような発注はさけるよう努めている。年度当初に設計委託を発注し、10月の予算要求までに工事費の概算提示をお願いしているが、思い描いた概算が出てこないことがある。すり合わせをする等の期間を考慮すると、必要な時期に概算を提示していただくようお願いしたい。

【協】 今後の工事は週休2日で工期が伸びていくことになるが、設計・工事含めた単年度事業だと、設計側にしわ寄せがくることを危惧している。事業計画も余裕をもった発注をしていただくよう配慮願いたい。

【県】 工期を長く設定する必要があることが計画の段階で予想されるものについては、前年度に設計を終えるなどして標準化を図っている。しかし、工期が厳しいものについては無理をお願いすることになってしまうが協力をお願いしたい。

【協】 協会としては、基本設計と実施設計は同事務所とするものとする。基本設計したものはやはり最後まで実施設計して形にしたい。

議題(4) 建築工事積算基準の公表について

【県】 現時点で積算基準の公表は考えていない。市町村に対する支援は県が直接行い、相談窓口も設置している。支援については市町村から相談してもらいたい。

【協】 外壁調査の入れで、金額公表がなく数量も足場面積しかないため積算が困難。足場単価も不明な中での入札は難しい。以前、この意見交換会の場で人役がわかる計算式の情報を出すといわれたができていない。もちろん見積りを取ったり、物価本で調べてはいるが入札するとまったく金額が異なることがある。仮設期間が分からないことも金額の差が出てくる要因である。

【県】 足場について見積もりをとると合わないという話はよくきく。

議題(2) プロポーザル方式について

【県】 当面は県としてのプロポーザル案件は予定がないが、実施する場合は先ほどの鳥取方式に準じた形式とする予定である。

【協】 プロポーザル資料(図面等)について、以前はイメージ図だったりゾーニング図だったりであったが、最近では基本設計のレベルまで求められてしまっている。この程度の平面図とか、この程度のイメージ図など、具体的な指定がないと、どうしてもどンドン作りこんでしまう。町村のプロポーザルは、一次選考二次選考と、採用される案の発表がないため、どのレベルが基準になるのかもわからないまま採用されようと必死になって作りこんでしまい結果、過大な業務負担となっているのが実情である。

【県】 町村のプロポーザルはどういった感じか。

【協】 二次審査で、A4図面を4枚くらい求められるが、一つ一つの求められる内容が基本設計以上で内容が濃い。またそれに伴うプレゼン資料の作成に加え、参加費も一切出ない。せめて参加費をだしていただくことと、採用されるための一つの指標を示していただきたい。採用レベルの指標を示すのは難しいかもしれないが、「失格、減点ポイント」をせめて示してほしい。

【県】 即答はできないが、そのような検討をする場合には、事務所協会に相談したい。

議題(5) DX化の補助金・融資の制度化について

【県】 補助制度等については、県のHPIにリンクを貼りたい。

【協】 国交省はBIM関係に何十億円と補助を付けるなど力を入れている。例えば、2万㎡以上の規模対象としたBIMのレンタル代などを全額補助する制度があるが、鳥取県ではこのような規模がないので使えない。また、BIM講習会も競争率が激しく何度応募しても参加できない状態で、このまま取り残されると心配になる。

【県】 県でもBIMの小委員会を立ち上げて研究や勉強していくとか、やっていきたいと思う。

【協】 今後BIMが普及した場合、改修工事でもBIM対応とするものか。

【県】 以前CADが普及した際に手書き図面をCAD化する委託業務があった。BIMも同様でBIM化する委託業務が出た後の話になるかと思われる。ただ小さい倉庫などの改修でBIMまで求めるのは考えにくく、ある程度の規模を対象とすることが考えられる。

【県】 まずは事務所協会でもBIM勉強会をしていきたい。

議題(3) 業務の発注方法について

【協】 単年度で設計・工事が予算化をされ、実際に設計してみると工事費が当初より大幅な増額となった場合、工期も限られ戻りもできず苦慮して

議題(6) クラス毎のバランスの取れた発注について

【県】 これまでも提案頂いた議題だが、難易度を考えたりまとめたりしてバランスがとれるよう対応している。このような考え方は総合事務所にも情報共有している。

【協】 よろしくお願いたい。

5. 鳥取県からの提案議題

- (1) 週休2日促進工事に係る工期設定について
- (2) 公共建築設計業務委託特記仕様書の一部改正について
- (3) 審査用図面提出の提出時期と審査回数について

6. 鳥取県からの情報提供

- (1) 鳥取県営繕工事・建築関係コンサルタント等業務の遠隔臨場に関する実施要領(試行)の制定について

令和4・5年度 役員名簿

役職名	氏名	所属	所在地	電話
会長	井手添 誠	(有)井手添建築設計事務所	倉吉市福庭町1-378	0858-26-5321
副会長	塚田 隆	(有)塚田隆建築研究所	鳥取市岩吉96-30	0857-28-9112
〃	藤原 賢治	(有)アーク設計工房	倉吉市南昭和町92	0858-47-0058
〃	吉田 成年	(有)安達建築設計事務所	米子市道笑町2-172	0859-33-7808
専務理事	田栗 稔裕	(一社)鳥取県建築士事務所協会	鳥取市西町2-102	0857-23-1728
理事	山下 卓治	(株)山下設計工房	鳥取市富安1-74-3	0857-27-5701
〃	霜村 將博	(株)白兎設計事務所	鳥取市西町2-123	0857-22-8381
〃	聲高 昌可	田中工業(株)設計事務所	鳥取市秋里1247	0857-22-8061
〃	来田 信浩	(株)桜や 建築設計工房	鳥取市雲山172-40	0857-30-3901
〃	南波 一好	フォーディー設計合同会社	鳥取市興南町61-2	0857-30-6147
〃	讃岐 英夫	(有)ミュー設計工房	倉吉市清谷町1-86-2	0858-48-1003
〃	戸田 雅之	一級建築士事務所戸田設計	倉吉市南昭和町86	0858-23-4407
〃	村中 耕作	(有)匠セイク合同設計	倉吉市八屋215	0858-26-5672
〃	長谷川 聖	(有)安本設計事務所	倉吉市八屋198-7	0858-26-3469
〃	足立 收平	(株)平設計	米子市東町177	0859-32-6161
〃	清水 幸憲	(株)清水設計	米子市石井322	0859-26-6688
〃	松山 久	(株)桑本建築設計事務所	米子市道笑町2-126	0859-32-3745
〃	守山 康仁	(株)エクス・プラン	米子市米原7-11-23	0859-22-4828
〃	川中 節男	(有)ケーアイ建築設計	米子市角盤町3-79	0859-33-2652
〃	木下 俊哉	木下俊哉建築設計事務所	米子市三本松2-6-41	0859-33-3725
監事	尾崎 知典	(有)尾崎設計	鳥取市湖山町西3-132-51	0857-31-0205
〃	藤井 泰徳	(有)フジイ総合設計事務所	倉吉市東巖城町143	0858-24-6688
〃	岩崎 浩	岩崎構造設計事務所	米子市博労町1-8	0859-22-7911

令和4・5年度 委員会・部会 構成員

総括	委員会名	担当副会長	委員長	支部	副委員長	委員	
会長 井手添 誠	総務企画 常任委員会	吉田 成年	足立 收平	東部	小谷 正 赤山 渉	霜村將博、山下卓治、釜田忠和、懸樋義樹、門脇 昇、坂本仁人、田中但男、森本博美、横山 悟、森口 完、鳥越義博	
				中部	戸田 雅之 北中 彰弘	讃岐英夫、大前拓也、酒井祐一、若松高幸、嶋田恭平、伊藤典章、川瀬光知夫、山田大生、松井香名子、穠近亮士	
				西部	守山 康仁 木下 俊哉	高村和也、長谷川恵一、清水 勉、田中 裕、山本博樹、松本 正、尾崎 学、永田建吾、松浦純也、津田雅史、中山晴文、岩本加奈子、藤原 聡、池田幸仁	
		広報編集	藤原 賢治	丁田 勝功	東部	小谷 雅昭 尾崎 知典	松島浩之、清水文寿、保木本啓一、小林孝行、福田早苗、山口知史、保木本和則、明治 功、谷本正敏
					中部	尾崎 浩秀 安谷 潔美	藤井泰徳、川口俊光、馬野慎一郎、小谷博志、田中一義、秋本文男、小椋栄治、小谷真一、長谷川 聖
					西部	松山 久 川中 節男	足立 浩、瀬川浩一、亀山浩一、戸田隆雄、本田雅紀、中野 靖、竹田昭生、赤井 優、田邊 誠、福井龍介、田淵孝一
		業務技術	塚田 隆	来田 信浩	東部	聲高 昌可 南波 一好	佐々木良介、長谷川信文、荒田潤之介、西村純一、松岡力也、杉内勝成、福田洋之、奥谷 司
					中部	村中 耕作 巨 寛之	里見泰男、荒井芳民、泉 博和、杉島篤美、小椋大樹、向井康英
					西部	清水 幸憲 岩崎 浩	浦川英敏、井田 優、羽子田靖彦、金田 勝、杵村優一郎、門脇 晃、小山博之、蔵本晴美、福岡利夫、山中省吾、堀尾輝昭、矢倉通宏
	専門委員会	指導(倫理)委員会 (苦情解決)	井手添 誠	東部	——	塚田 隆、小谷 正	
				中部	——	讃岐 英夫、藤原 賢治	
				西部	——	足立 收平、吉田 成年	
		特建審査委員会	塚田 隆	東部	——	熊澤 幸秀、土居 一頼	
				中部	——	藤井 泰徳、里見 泰男、長谷川 聖	
				西部	——	川中 節男、高村 和也、井田 優	
		木造住宅 耐震診断委員会	藤原 賢治	東部	松島 浩之	小谷 雅昭	
				中部	井手添 誠	秋本 文男、大前 拓也	
				西部	岩崎 浩	木下 俊哉、山本 博樹、矢倉 通宏	
	耐震専門委員会 委員長 稲田 祐二 委員長代理 田中 博美 副委員長 藤井 泰徳 相談役 井手添 正 (検査担当)	東部	——	門脇 昇、藪田 浩明			
		中部	——	井手添 誠、讃岐 英夫			
		西部	——	内田 彰、羽子田孝彦			
	部会	賛助会 東部、中部、西部 担当	東部	森下 泰年(株)森下久平商店)			
			中部	端 純一(株)鴨川)			
			西部	瀬尾 穰明(株)インテリアセオ)			

※ 指導委員会委員は、倫理委員会委員を兼ねる
 ※ 耐震専門委員会は、鳥取県耐震診断等評定委員会規定 第6条(部会)に基づき設置

順不同

令和5年度 日事連年次功労者表彰 受章

おめでとうございます

株式会社白兔設計事務所

取締役会長 霜村 將博 氏

昨年（令和5年）10月13日に当地米子市で開催された第45回建築士事務所全国大会の記念すべき「鳥取・島根大会」に於いて、日事連年次功労者表彰を受章いたしましたこと、関係各位に心より感謝を申し上げます。

さて、振り返ってみますと平成19年度に理事に就任し、平成22年度より6年間副会長を務め、そして平成28年度より3期6年間会長を務めさせて頂きました。その間、心に残ることは多々ありますが、中でも一番の思い出は会長就任1年目で創立50周年に際し多くの記念事業に取り組み、会員・賛助会員の皆様のおかげで平成30年1月26日には盛大に記念式典を行ったことでした。

そしてもう一つ、この度の全国大会に於いても私が会長時代に初の試みとして、島根会との二単位会共催で誘致したことでした。コロナの影響で1年延び、その間に私は会長を井手添誠氏へバトンタッチしましたが、井手添会長並びに島根会の矢野会長、そして実行委員長の当会足立收平氏をはじめ多くの実行委員の皆様のおかげで他県の開催に勝るとも劣らぬ立派な大会であったと確信しております。

今後は、これを会員皆様の大きな自信として協会の事業に取り組んで頂き、鳥取県建築士事務所協会が益々の御発展を遂げられますことと、会員・賛助会員企業の更なる御繁栄をお祈りし、お礼のご挨拶と致します。



鳥取県立美術館



当プロジェクトは、鳥取県内初となるBTO※方式のPFIにより県立美術館を建設するものです。建築地は、鳥取県中央部に位置する倉吉市の、市立図書館や複合文化施設が集まる倉吉パークスクエアの一角で、目の前には「大御堂廃寺跡地」の広々とした緑地が広がっています。新設する美術館は基本構想コンセプトである「とっとりの未来を“つくる”美術館」を軸に「ひとをつなぐ」「まちをつなぐ」「文化をつなぐ」という3つのテーマのもと、周囲に広がっていくような開放的な空間構成と、3階建ての施設全体を覆う庇の機能を兼ねた大屋根が特徴的なデザインとなっています。

※ Build Transfer Operate : 民間事業者が施設を建設 (Build) した後、施設の所有権を市に移管 (Transfer) したうえで、施設の運営 (Operate) を行うもの

主体構造は、耐火性、耐震性に優れた鉄筋コンクリート造とし、床・屋根組みには大スパン架構に適した鉄骨梁を採用したハイブリット構造としています。これにより展示室の無柱空間を実現し、耐震安全性と機能性に合致した構造となっています。展示室の配置、来館者動線と合致するよう分散配置された展示室の壁は、鉄筋コンクリート造耐力壁となっており、耐震要素のバランス配置と、展示室の堅牢性、遮音性、静寂性を確保した建築計画と整合した構造となっています。

柱を内蔵した耐力壁により、柱型の無い整形な展示室を実現し、大屋根は鉄骨造で軽量化を図り、支える列柱には高い軸剛性と靱性を有する鉄骨鉄筋コンクリート造柱とし、開放的な「ひろま」空間を実現しています。「ひろま」上部の吹き抜け周囲には耐力壁の配置と、2階スラブの水平力の伝達により、耐震性と開放性を両立しています。

建築概要

建築地：鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-9,12

建築主：鳥取県立美術館パートナーズ(株)

設計：榎総合計画事務所・竹中工務店
設計共同企業体

監理：(株)榎総合計画事務所

施工：鳥取県立美術館整備運営事業
竹中・懸樋・丹青共同企業体

建築面積：5,348㎡

延床面積：10,599㎡

建物規模：地上3階

構造：RC造、一部S造・SRC造
耐震壁を有するラーメン構造

工期：2022年1月～2024年3月

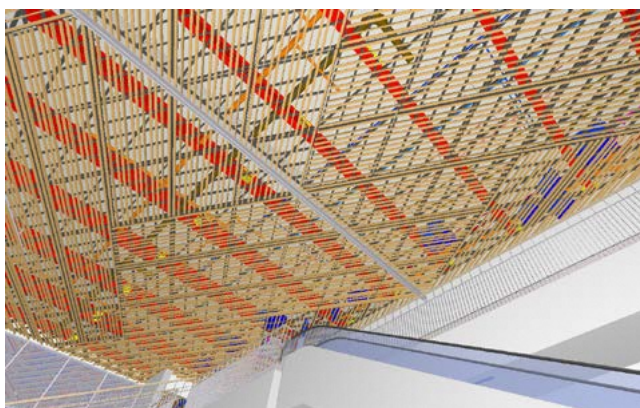
当工事で採用した竹中新生産システム

建設技能者不足が深刻化する中、働き方改革による「建設業の魅力向上と生産力の確保」をめざす動きが進んでいます。こうした建設業界を取り巻く課題及びデジタル化社会を含めた将来の環境変化に対し、竹中工務店ではお客様ニーズに応える生産力及び建設サービスの提供をめざした建築生産変革の取り組みを「竹中新生産システム」として展開しています。以下では当工事で活用した事例についてご紹介します。

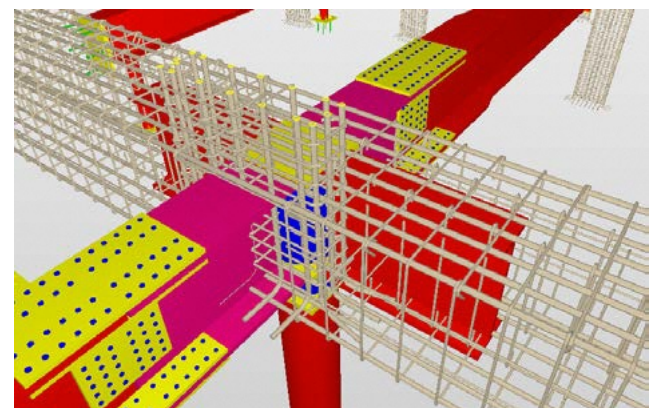
オープンBIM方式での効果的な生産準備

設計から生産の全てのプロセスで横断的にBIMを展開し、生産性向上を図るには、設計者・施工者・協力会社がそれぞれのニーズに応じたBIMソフトを活用することが不可欠であり、BIMのメリットを最大化するポイントになります。

竹中工務店では、特定のBIMソフトに依存しない国際的なフォーマットであるIFC形式での共有・調整を軸とした「オープンBIM」の考え方を採用しています。設計者・施工者・協力会社はそれぞれの目的に適したBIMソフトのデータによる調整が可能で、BIMモデルの効果的な活用展開を図ることができます。基本業務プロセスに関係者間のモデルデータ連携による整合性確認を組み込み、各フェーズにおける設計・生産調整及び段階的な生産準備を行います。着工後も特定のBIMソフトに依存しない形で、詳細レベルの取り合い調整や作業所の施工管理におけるBIMデータ活用が可能です。



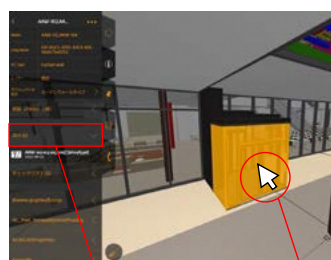
「ひろま」天井木ルーバーの意匠性確認



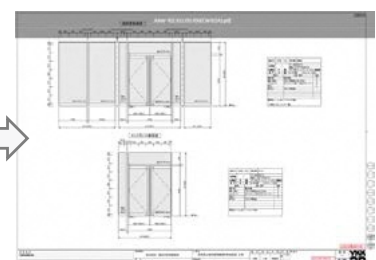
仕口回りの収まり確認



StreamBIM活用



最新の製作図を連携

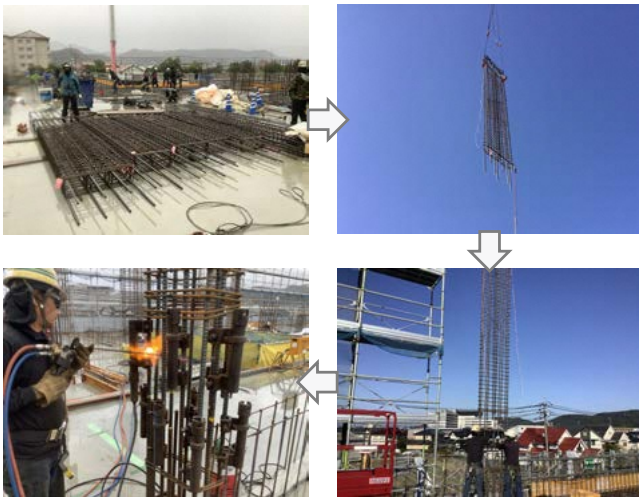


オブジェクトを選択

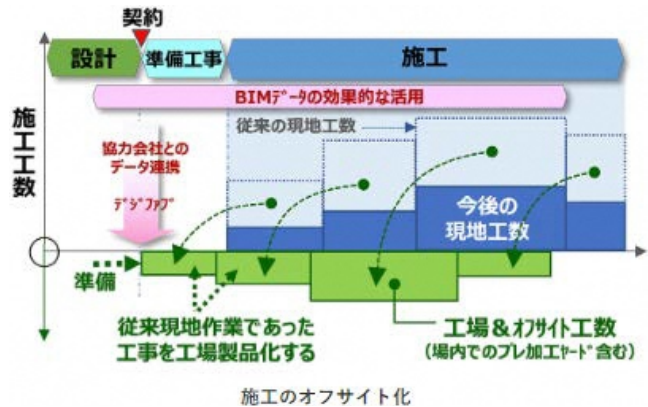
施工のオフサイト化

建設現場で行っていた加工や組み立てを工場等での製品化やユニット化に置き換え、現地での工程と工数を最小化するオフサイト化を進め、現地施工の生産性を大幅に向上させます。

<当工事での事例>



鉄筋ユニット



施工のオフサイト化



大屋根先端スラブのPC化

デジタル施工技術・建設DX

デジタル施工技術の進歩は目覚ましく、将来の建築生産プロセス変革及び生産性向上の鍵を握っています。現在では、BIMデータや施工空間のIoTデータ等の広がりと共に、建設現場での部材取付や自動計測、施工管理、建設機械・ロボットの自律化等へと適用範囲が広がっています。ベンチャー企業等の効果の高い技術と自社開発技術の活用シーン別の最適な組み合わせを図り、将来を見据えた施工現場におけるデータを活用したものづくりの姿を実現します。以下では当工事で活用した事例についてご紹介します。



デジタルデータを活用した施工PDCAサイクル

■ 高所作業車 建トウン®

4.5mの作業床を上げたまま走行が可能な高所作業車です。上昇状態での横移動を可能とするために各種安全を守る機能を備えています。センサーにより危険を検知して、動作停止とあわせて警報を鳴らします。耐火被覆吹付、天井設備取付・配線、壁・天井ボード取付で活躍します。

安全を守る機能を備えています

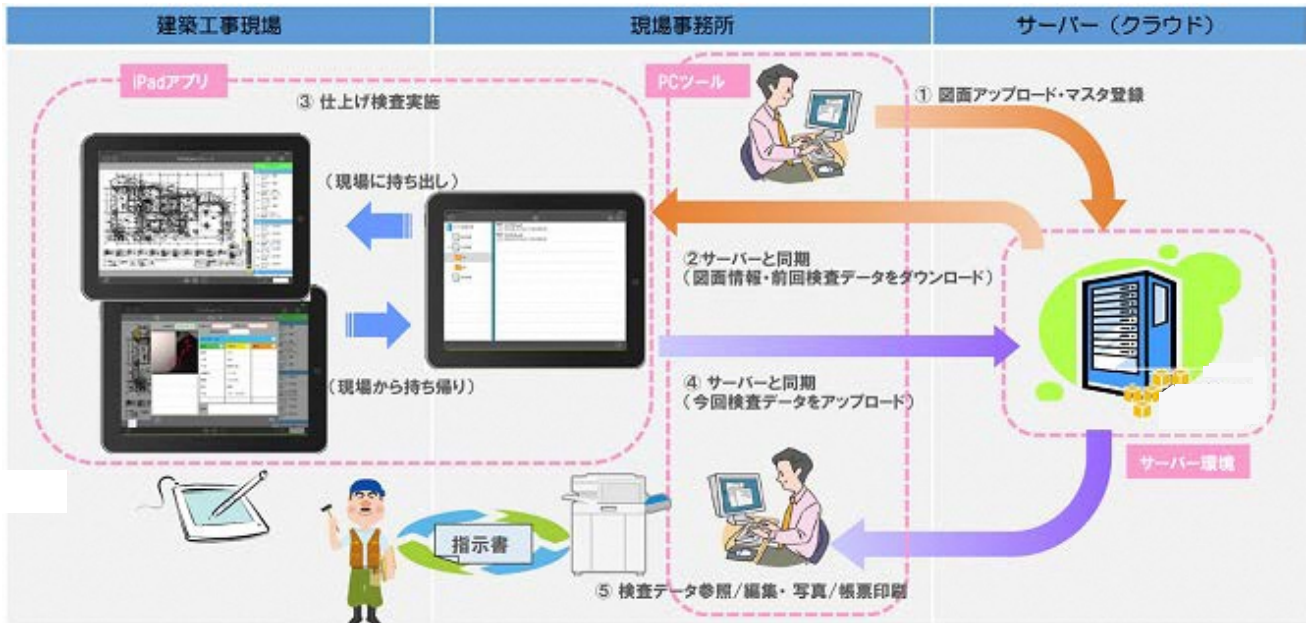
- 上部障害物検知
- 上部での挟まれ事故防止策！
リミットスイッチ（4カ所）で上部との接触を検知
- 前後段差検知
- ±25mmの段差（上下）を検知
- 前後障害物検知
- 衝突ダンパーにより15mmの変異を検知

危険を検知→動作停止&警報鳴動！



■ 仕上検査アプリLAXSY

建設現場での仕上チェックをはじめとした各種検査を支援するiPad専用アプリです。一連の仕上検査で必要になる写真や検査情報を登録・共有することが可能で、効率的な検査業務を行うことができます。



■ メッセージツールdirect

作業所内において協力会社を含めて活用できるメッセージツールです。作業所内の1対1または複数人でのテキストメッセージ、写真等のやりとりをiPad及びiPhone並びにパソコンを用いて行います。タスク機能を利用すると、指摘事項の共有、確認、是正完了の報告等を簡単に行うことができます。



タスク共有画面

■ 遠隔監視カメラSafie

LTE搭載のクラウド型カメラです。180度広角レンズカメラ、パンチルトズーム対応カメラ、持ち運び可能なポケット型カメラの3種類があります。事務所から現場をリアルタイムで確認できるだけでなく、他県にある支店の安全部門が映像を日々確認し、遠隔で安全巡回を行うことも可能です。



地域に開かれた美術館「建設業の魅力発信」

鳥取県立美術館という県民が注目するプロジェクトにおいて、県民との情報共有を図り開館前から完成へのワクワク感を醸成し、人々に永く親しまれる施設を実現すること、及び地元の建築学生や建築関係者に設計・施工情報を提供し、地域の建築技術の向上に寄与することを目的に、発注者である鳥取県教育委員会事務局美術館整備局と共に工事見学会の依頼を積極的に受け入れ、計109回延べ約13,000人の方に見学いただきました。



工事見学会の受け入れに当たって、小中学生をはじめ多くの方々に建設現場を見ていただきたいという思いから幅広い年齢層の幼稚園、小学校、老人クラブのほか、地元の梨生産部会など団体を受け入れてきました。当社が鳥取県から受託し2023年5月に開催した上棟イベントでは県内外から約4,000人が来場、2023年11月に鳥取県主催で開催し当JVが工事見学会や建設重機の試乗体験を行った開館500日前イベントでは約3,500人が来場しました。2024年1月末時点で計109回の工事見学会を受け入れており、見学者数は延べ約13,000人に上ります。延べ見学者数が10,000人を超えた開館500日前イベントでは、美術館開館に向けての機運醸成及び鳥取県内の建築人材育成に寄与したとして、鳥取県教育委員会教育長より感謝状をいただきました。

建設業全体の就業者数の減少と高齢化が進む中、若手入職者の確保や育成支援は不可欠です。工事見学会を通して、未来の建設業を担う小中学生をはじめ多くの方々に建設現場を見ていただき、職人さんの働く姿や環境を肌で感じていただくことで、ものづくりの楽しさを伝えることができました。また、週休二日促進や女子トイレ設置などの労働環境改善への取り組みを紹介することで、職業としての建設産業をPRすることもできました。地元の工業高校や大学の建築学生、建築士会などの建築関係者に設計・施工情報を提供し、BIM活用による施工の事前検証や収まり改善の取り組み、仕上検査アプリLAXSYや配筋検査アプリFALCON、遠隔監視カメラSafieなどのICTツール、次世代高所作業車の活用などの生産性向上活動を説明し、地域の建築技術及び知識の向上に寄与しました。

地域飛び出し活動

工事見学会の受け入れだけでなく、地域で行われるイベントに美術館をPRするブースを県と共に出店し、VRを使い完成後の美術館を一般の方々に見ていただく体験や、鳥取県建設技術センターの依頼で竹中工務店の社員が講師となり地域の建築関係者向けに「建築工事の品質管理」「電気・機械設備の品質管理」「現場技術者のための安全衛生管理」の講習を行うなど作業所外での活動も積極的に行いました。

当作業所で行った工事見学会には地元の新聞社や放送局が取材に来ることがあり、建物のPRにつながるだけでなく、近隣住民の方々に事業への理解を深めていただき、良好な関係を築けたことが円滑な工事運営につながりました。



2022年10月16日 地域の祭での出店

着工より受け入れてきた見学会一覧（抜粋）

2022年		2023年	
4月 22日	鳥取短期大学 (50名)	2月 10日	NPO法人未来 (19名)
5月 19日	土木学会 (10名)	3月 19日	中部地区の集い協議会 (150名)
6月 13日	鳥取大学 (30名)	4月 8日	さくら祭 (200名)
6月 16日	鳥取工業高校 (80名)	5月 14日	上棟イベント (4,000名)
6月 25・26日	食のみやこフェス (900名)	6月 10・11日	食のみやこフェス (600名)
7月 23日	土木学会主催親子見学会 (100名)	6月 14日	鳥取工業高校 (49名)
9月 7日	米子工業高校 (40名)	6月 29日	美術を楽しむ会 (30名)
9月 17日	中部地区の集い協議会 (40名)	7月 28日	島根大学 (55名)
10月 2日	未来ウォーキング (80名)	8月 3日	米里地区公民館 (20名)
10月 20日	米子工業高専 (40名)	9月 5日	米子工業高校 (36名)
10月 27日	どんぐり保育園 (80名)	9月 11日	三洋OB会 (20名)
10月 28日	境港市職員 (10名)	9月 14日	大和リース (80名)
11月 1日	とっとり建設女星ネットワーク (40名)	9月 23日	成徳小学校親子会 (70名)
11月 7日	倉吉幼稚園 (120名)	9月 26日	上灘小学校 (50名)
11月 19日	上灘小学校 (50名)	10月 6日	関金地区コミュニティーセンター (30名)
11月 25日	鳥取短期大学 (40名)	10月 11日	倉吉商工会議所女性会 (30名)
11月 27日	一般の方 (750名)	10月 13日	倉吉西高校 (100名)
12月 4日	鳥取中部歩こう会 (30名)	10月 30日	建築士会 (41名)
12月 4日	とっとり県美応援団 (50名)	11月 5日	開館500日前イベント (3,500名)



2023年7月18日 近隣保育園



2022年9月7日 米子工業高校

10月13日(金)、「神話のふるさと 悠久の山陰からの挑戦」をテーマに、第45回建築士事務所全国大会が米子コンベンションセンターを主会場に開催されました。本大会は初めての試みとなる2つの単位会による合同開催—鳥取・島根大会—です。私は当日の午後から参加した、基調講演と大会式典について振り返りたいと思います。



基調講演オープニング

基調講演は、建築家 内藤 廣 氏 により「グラントワから考える山陰からの挑戦」として、13:00~14:30のスケジュールで行われました。序盤は、今までのご経歴を冗談を交えながら愉快地話され、この時点で会場にいるほとんどの人が内藤氏の話に引き込まれていったように感じます。島根県芸術文化センター「グラントワ」の設計の際、人口5万人の町に1,500人のホールが本当に必要かと当時の澄田知事に尋ねたところ、文化の拠点として東京から一流のアーティストを呼ぶためにはどうしても1,500人が必要だと頭を下げられ「残すべきは文化だ」と言われたことに感銘を受けられたそうです。実際に、今のグラントワは澄田知事の考えていた通りの施設になっていることをとても誇らしく思っているとのこと、そのグラントワで「ちょうど自分の展示会が開催されているということを宣伝しようとやってきた。」と楽しそうに話されました。自分の設計した建物で、学芸員の方の総意で展示会ができることをとても名誉だとされました。

グラントワでの内藤氏の展示会は「BuiltとUnbuilt赤鬼と青鬼の果てしなき戦い」と題して、実際に建設された建物(Built)と、コンペ等で落選したり設計は完了したが諸事情で実現しなかった建物(Unbuilt)の両方を展示されているそうです。内藤氏は、何十年も前にコンペで落選した作品を振り返り、まだ使えるデザイン等がたくさんあることを見つけることができたと話されました。これらの話の中で私が一番面白いと感じたのが「青鬼」と「赤鬼」の話です。青鬼と赤鬼を概念的にデザインされたポスタ

ーにもあるのですが、これらは誰の心の中にもある建前と本音の部分で、青鬼が建前、赤鬼が本音です。「現実型」と「夢想型」、「まとも、堅気」と「やけくそ、場当たりの」、「枠組み」と「逸脱」、いずれも、前者が青鬼、後者が赤鬼です。私は職業柄か間違いがないよう慎重に物事を進めるのが性格なのですが、その日の体調や忙しさによって、青鬼優勢の日と赤鬼優勢の日があります。当然最終的には青鬼がまとめてくれる訳ですが、そこに至るまでの青鬼と赤鬼の攻防は皆さんにも思い当たることはないでしょうか。まさに果てしなき戦いです。



赤鬼と青鬼



展示会ドローイング



アルゲリッチハウス

講演の最後に、知り合いの記者から聞いた話をされました。その方が首相官邸付きの記者をしていた時、当時の中曽根康弘首相に「国とは何か」と尋ねたところ、その問いに中曽根首相は「文化を守る装置」だと答えられたそうです。この考えの通り、建築基準法や建築士事務所協会等

の建築関係団体も建築文化を守るためのものであるから、より一層この協会を盛り上げ、日本の大切な文化を守っていきましょと締めくくられました。

15分の休憩をはさみ、大会式典が始まりました。式典の冒頭は、アトラクションとして社会福祉法人いわみ福祉会芸能クラブによる石見神楽「大蛇」が披露されました。石見神楽の代名詞といわれる迫力ある演目に、会場の全員が引き込まれました。続いて、山陰各所を紹介したオープニング映像が上映されましたが、これもまた大変美しいもので、全国から集まった方々に、山陰の良さをよく伝えることができたと思います。そして、鳥取会会長でも



迫力ある石見神楽

ある日事連 井手添 副会長の開会宣言で式典が始まりました。鳥取会・島根会を代表した井手添会長の歓迎の挨拶では、国引き神話を使って山陰を紹介されたことで、古事記日本神話と山陰地方のつながりをよく分かっていただけだと思います。ご来賓からは、平井鳥取県知事、伊木米子市長が鳥取県を代表して祝辞を述べられましたが、お二人ともユーモアを交えて歓迎を表され、参加された方も大変喜ばれていました。



井手添会長歓迎挨拶



平井知事挨拶



伊木市長挨拶



年次功労者表彰を受賞される霜村前会長



小谷委員長による青年話創会報告



福井会へ大会旗伝達

各表彰では、日事連建築賞に続き、年次功労者として35名が表彰され、その代表として鳥取会前会長の霜村將博氏((株)白兔設計事務所)が登壇され、日事連児玉会長から表彰を受けられました。その後、青年話創会報告、女性交流会報告に続き、日事連 上野 副会長により「私たち建築士事務所は、持続可能な開発目標と脱炭素社会実現に向け、建築技術の向上を図り、次世代に邁進していくこ

10月13日(金)、「神話のふるさと 悠久の山陰からの挑戦」をテーマに、第45回建築士事務所全国大会が米子コンベンションセンターを主会場に開催されました。本大会は初めての試みとなる2つの単位会による合同開催—鳥取・島根大会—です。私は当日の午後から参加した、基調講演と大会式典について振り返りたいと思います。



基調講演オープニング

基調講演は、建築家 内藤 廣 氏 により「グラントワから考える山陰からの挑戦」として、13:00~14:30のスケジュールで行われました。序盤は、今までのご経歴を冗談を交えながら愉快地話され、この時点で会場にいるほとんどの人が内藤氏の話に引き込まれていったように感じます。島根県芸術文化センター「グラントワ」の設計の際、人口5万人の町に1,500人のホールが本当に必要かと当時の澄田知事に尋ねたところ、文化の拠点として東京から一流のアーティストを呼ぶためにはどうしても1,500人が必要だと頭を下げられ「残すべきは文化だ」と言われたことに感銘を受けられたそうです。実際に、今のグラントワは澄田知事の考えていた通りの施設になっていることをとても誇らしく思っているとのこと、そのグラントワで「ちょうど自分の展覧会が開催されているということを宣伝しようとやってきた。」と楽しそうに話されました。自分の設計した建物で、学芸員の方の総意で展覧会ができることをとても名誉だとされました。

グラントワでの内藤氏の展覧会は「BuiltとUnbuilt赤鬼と青鬼の果てしなき戦い」と題して、実際に建設された建物(Built)と、コンペ等で落選したり設計は完了したが諸事情で実現しなかった建物(Unbuilt)の両方を展示されているそうです。内藤氏は、何十年も前にコンペで落選した作品を振り返り、まだ使えるデザイン等がたくさんあることを見つけることができたと話されました。これらの話の中で私が一番面白いと感じたのが「青鬼」と「赤鬼」の話です。青鬼と赤鬼を概念的にデザインされたポスタ

ーにもあるのですが、これらは誰の心の中にもある建前と本音の部分で、青鬼が建前、赤鬼が本音です。「現実型」と「夢想型」、「まとも、堅気」と「やけくそ、場当たりの」、「枠組み」と「逸脱」、いずれも、前者が青鬼、後者が赤鬼です。私は職業柄か間違いがないよう慎重に物事を進めるのが性格なのですが、その日の体調や忙しさによって、青鬼優勢の日と赤鬼優勢の日があります。当然最終的には青鬼がまとめてくれる訳ですが、そこに至るまでの青鬼と赤鬼の攻防は皆さんにも思い当たることはないでしょうか。まさに果てしなき戦いです。



赤鬼と青鬼



展示会ドローイング



アルゲリッチハウス

講演の最後に、知り合いの記者から聞いた話をされました。その方が首相官邸付きの記者をしていた時、当時の中曽根康弘首相に「国とは何か」と尋ねたところ、その問いに中曽根首相は「文化を守る装置」だと答えられたそうです。この考えの通り、建築基準法や建築士事務所協会等

の建築関係団体も建築文化を守るためのものであるから、より一層この協会を盛り上げ、日本の大切な文化を守っていきましょと締めくくられました。

15分の休憩をはさみ、大会式典が始まりました。式典の冒頭は、アトラクションとして社会福祉法人いわみ福祉会芸能クラブによる石見神楽「大蛇」が披露されました。石見神楽の代名詞といわれる迫力ある演目に、会場の全員が引き込まれました。続いて、山陰各所を紹介したオープニング映像が上映されましたが、これもまた大変美しいもので、全国から集まった方々に、山陰の良さをよく伝えることができたと思います。そして、鳥取会会長でも



迫力ある石見神楽

ある日事連 井手添 副会長の開会宣言で式典が始まりました。鳥取会・島根会を代表した井手添会長の歓迎の挨拶では、国引き神話を使って山陰を紹介されたことで、古事記日本神話と山陰地方のつながりをよく分かっていただけだと思います。ご来賓からは、平井鳥取県知事、伊木米子市長が鳥取県を代表して祝辞を述べられましたが、お二人ともユーモアを交えて歓迎を表され、参加された方も大変喜ばれていました。



井手添会長歓迎挨拶



平井知事挨拶



伊木市長挨拶



年次功労者表彰を受賞される霜村前会長



小谷委員長による青年話創会報告



福井会へ大会旗伝達

各表彰では、日事連建築賞に続き、年次功労者として35名が表彰され、その代表として鳥取会前会長の霜村將博氏((株)白兎設計事務所)が登壇され、日事連児玉会長から表彰を受けられました。その後、青年話創会報告、女性交流会報告に続き、日事連 上野 副会長により「私たち建築士事務所は、持続可能な開発目標と脱炭素社会実現に向け、建築技術の向上を図り、次世代に邁進していくこ

株式会社 白兔設計事務所

日ノ丸産業株式会社



構造：木造4階建て
建築面積：407.93㎡
延べ床面積：1,481.06㎡

美保建築士事務所

工事名称 美保テクノス本社屋新築工事
所在地 鳥取県米子市昭和町25番地



外観（南東側）



受付ホール



リフレッシュルーム



執務室



エントランスホール

構造・規模 鉄骨造5階建
建築面積 847.91㎡
延床面積 3385.20㎡

工事名称 シニアステージ東津田新築工事
所在地 島根県松江市東津田町1080



外観



外構



ライブラリ

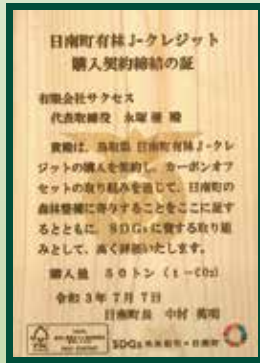


居室ツイン

構造・規模 鉄骨造4階建
建築面積 1117.61㎡
延床面積 3418.72㎡



総合解体工事業・産業廃棄物処分量



日南町有林Jクレジット制度購入

カーボンオフセットの取組を通じてSDGsの取組も行っていきます。



有限会社サクセスは、環境問題・廃棄物の適正処理を推進し、循環型社会形成の構築を目指します。

事業内容

総合解体工事業

- ・住宅・ビル・橋・煙突・機械設備等の解体工事
- ・アスベスト除去工事

産業廃棄物処分量(中間処理)

取扱い品目

- 廃プラスチック類・木くず・紙くず・繊維くず・金属くず
- ゴムくず・ガラスくず・陶磁器くず・コンクリート・がれき類
- 以上8品目(石綿含有廃棄物及び特別管理業廃棄物を除く)

取得許可

- | | |
|----------------|------------------------|
| 一般建設業 | 鳥取県(解体、土木、建築、とび・土工、舗装) |
| 鳥取県版環境管理システム | TEAS I種 |
| 産業廃棄物処分量 | 鳥取県 |
| 産業廃棄物収集運搬業 | 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、兵庫県 |
| 特別管理産業廃棄物収集運搬業 | 鳥取県、島根県、岡山県、京都府 |



再生砕石 Rcc-40

弊社の再生砕石(Rcc-40)は鳥取県認定グリーン商品です。路盤材・埋戻材などとしてご利用下さい。



SK550導入しました

お問合せ先

〒683-0101 鳥取県米子市大篠津町3197



有限会社 **サクセス**
SUCCESS CO.LTD

TEL (0859) 25-6565
 FAX (0859) 25-6566
 E-mail info@success-ltd.co.jp
 URL http://www.success-ltd.co.jp/

ユーチューブ始めました。 有限会社サクセスで検索して御覧下さい。

システム建築のお役立ち

汎用性を高めたシステム部材を組み合わせることで設計・製造・施工を合理化。システム建築商品が持つ様々なメリットが、お客様のビジネスを力強くサポートします。



日成Vスパン-S

農業用常温倉庫・低温倉庫

日成ビルド工業のお役立ち

基礎から上屋までのトータル設計に加え、弊社が全国で展開する『製作工場』と『ゼネコン機能』により、全国で設計・生産・施工のすべてに責任を持ってサポートいたします。



システム建築と立体駐車場の総合メーカー

日成ビルド工業株式会社

米子営業所 〒683-0812

鳥取県米子市角盤町2丁目55角盤町コモド・ワン6階-A

☎(0859)32-9900 / FAX (0859)32-9880

弊社HPは
こちらから>>



本社

金沢市金石北3丁目16-10

☎(076)268-1111(大代)

全国39営業店・生産センター7拠点

東京支店 ☎(03)5418-5901

札幌支店 ☎(011)252-5051

静岡支店 ☎(054)237-2341

大阪支店 ☎(06)7669-8950

仙台支店 ☎(022)388-7515

広島支店 ☎(082)263-6255

神奈川支店 ☎(045)470-3391

名古屋支店 ☎(052)533-4730

福岡支店 ☎(092)473-6331

電化住宅にお住まいになるお客さまや、電気給湯機等をご使用のお客さまにおすすめの電気料金メニューをご案内します！ ※

ぐっとずっと。プラン

ナイトホリデーコース

ぐっとずっと。プラン

電化Styleコース

夜間と休日は平日昼間より**割安**な料金単価で電気が使えます！

※ご使用量が少ない等、ご使用状況によっては、他の電気料金メニューがおすすめとなる場合があります。

電気料金の時間帯区分

デイトタイム (季節区分があります)

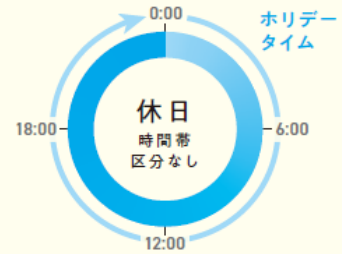
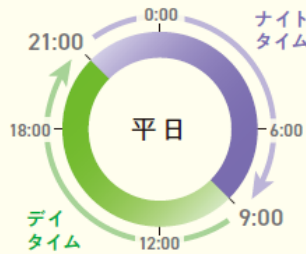
平日の9時～21時
(夏季:7/1～9/30、その他季:10/1～翌年6/30)

ナイトタイム

平日の0時～9時、平日の21時～24時

ホリデータイム

土曜日・日曜日・祝日、
1/2～1/4、5/1、5/2、12/30、12/31の全日



年間で約**2/3**が料金単価の割安な時間帯(ナイトタイム+ホリデータイム)です。

ナイトホリデーコース料金単価

料金単価は、消費税等相当額を含みます。

電力量料金	デイトタイム	夏季	1kWh	49.36円
		その他季	1kWh	46.90円
	ナイトタイム		1kWh	34.55円
	ホリデータイム		1kWh	34.55円
最低月額料金			1契約	1,844.70円

○ご使用電力量に応じて算定した金額が最低月額料金を下回る場合(使用開始月および廃止月を除く)は、最低月額料金に再生可能エネルギー発電促進賦課金を加えた金額をご請求します。

電化Styleコース料金単価

料金単価は、消費税等相当額を含みます。

基本料金*	ご契約電力が10kWまで		1契約	1,922.30円
	ご契約電力が10kW超過		1kWにつき	464.30円
電力量料金	デイトタイム	夏季	1kWh	46.56円
		その他季	1kWh	44.50円
	ナイトタイム		1kWh	30.43円
	ホリデータイム		1kWh	30.43円

※各月の契約電力は、最大使用電力のうち、その月を含む過去1年間の最も大きな値とします。まったく電気を使用されない場合の基本料金は半額となります。

【重要なお知らせ】

適用条件等につきましては、中国電力WEBサイト「ぐっとずっと。WEB」をご確認ください。⇒



<お電話でのお問い合わせ先>

中国電力株式会社 鳥取統括セールスセンター

鳥取市新品治町1番地2 (0857)36-7018

受付時間/平日9時～17時



株式会社モリックスジャパン

本 社 鳥取市商栄町203-6

TEL 0857-23-3641 FAX 0857-22-3329

倉吉店 倉吉市幸町529番地

ユーミーレジデンス1-3号

TEL 0858-24-5451 FAX 0858-24-5452

(株) 三 協 商 会

建築資材及び工事、土木資材及び工事
建設・産業機器（レンタルも）
事務所什器備品（レンタルも）

担当者名 毛 利 亮

〒680-0843 鳥取市南吉方 1 丁目47番地

TEL 0857-24-6111 / FAX 0857-27-7031

E-mail: r-mouri@sankyogrp.co.jp

会議報告

■令和5年度定時総会

日 時／令和5年5月19日(金) 14:30～
場 所／倉吉シティホテル
出席者／会員39名、委任出席52名、欠席27名
議 題／議案の審議
第1号議案 令和4年度事業報告
第2号議案 令和4年度収入支出決算承認の件
(令和4年度監査報告)
第3号議案 令和4年度特別会計(全国
大会関係)収支決算報告
報告事項
令和5年度事業計画及び令和5年度収
支予算
令和5年度特別会計(全国大会関係)収
支予算
【令和5年3月30日理事会承認】

■令和5年度事業等監査会

日 時／令和5年4月21日(金) 11:00～
場 所／事務所協会事務局
出席者／監事、会長

■第1回理事会

日 時／令和5年5月8日(月) 13:30～
場 所／事務所協会事務局(Web会議)
出席者／理事17名、監事2名
議 題／議 案
令和4年度 事業報告について
令和4年度 収入支出決算報告について
令和4年度 特別会計(全国大会関係)
収入支出決算報告について
上記に係る監査報告
賛助会員の入会の可否について
報告事項
全国大会事務局米子事務局(仮称)の開
設について
会議等開催状況
今後の日程

■第2回理事会

日 時／令和5年8月25日(金) 10:00～
場 所／事務所協会事務局(Web会議)
出席者／理事17名、監事1名
議 題／議 案
賛助会員の入会の可否について
協議事項
事務所登録申請等にかかる手数料の見直
し等について
鳥取県におけるPFI事業に係る検討に
ついて
報告事項
建築物省エネ法等改正に係る対策推進
協議会について
住宅耐震化の促進に向けた戸別訪問モ
デル事業について
(一社)全国高等専門学校連合会から
の感謝状について
会議等開催状況 他(5.8以降)
今後の日程

■第3回理事会

日 時／令和5年11月13日(月) 13:30～
場 所／協会事務局(Web会議)
出席者／理事16名、監事2名
議 題／議 案
正会員の入会の可否について
協議事項
新年互礼会の開催について
「県との意見交換会」の議題について
令和5年度県外研修の実施について
会誌「日事連」の特集号「新年の抱負」の
執筆依頼について
報告事項
第45回建築士事務所全国大会(鳥取・
島根大会)の実施結果について
木造住宅耐震化促進個別訪問モデル事
業について
広域災害発生時における損害調査等へ
の協力依頼について
会議等開催状況(8.25以降)
今後の日程

■第4回理事会

日 時／令和6年1月15日(月) 13:30～
場 所／事務所協会事務局(Web会議)
出席者／理事17名、監事3名
議 題／協議事項
「県との意見交換会」提出議題について
令和5年度県外研修の実施について
建築士事務所全国大会(鳥取・島根大
会)の特別協賛金について
報告事項
第45回建築士事務所全国大会(鳥取・
島根大会)の実施結果について
令和6年度日事連建築賞の実施について
会議等開催状況(11.13以降)
今後の日程

■第1回三役会

日 時／令和5年4月24日(月) 10:00～
場 所／事務所協会事務局(Web会議)
出席者／会長、副会長、専務理事
議 題／議 事
第1回理事会 提出議案について
令和4年度事業報告について
令和4年度収入支出決算報告について
令和4年度特別会計(全国大会関係)収
入支出決算報告について
上記に係る監査報告
協議事項
令和5年度 委員長・副委員長会議の
開催について
令和5年度 県との意見交換会の開催
の可否について
報告事項
会議等開催状況(3.30以降)
今後の日程

■第2回三役会

日 時／令和5年8月4日(金) 10:00～
場 所／事務所協会事務局(Web会議)
出席者／会長、副会長、専務理事
議 題／議 事

第2回理事会 提出議案について
協議事項
事務所登録申請等にかかる手数料の見
直し等について
報告事項
建築物省エネ法等改正に係る対策推進
協議会について
(一社)全国高等専門学校連合会からの
感謝状について
会議等開催状況(4.24以降)
今後の日程

■第3回三役会

日 時／令和5年11月6日(月) 13:30～
場 所／事務所協会事務局(Web会議)
出席者／会長、副会長、専務理事
議 題／議 事
第3回理事会 提出議案について
正会員の入会の可否について
協議事項
新年互礼会の開催について
「県との意見交換会」の議題について
会誌「日事連」の特集号「新年の抱負」の
執筆依頼について
報告事項
第45回建築士事務所全国大会(鳥取・
島根大会)の実施結果について
木造住宅耐震化促進戸別訪問モデル事
業について
広域災害発生時における損害調査等へ
の協力依頼について
会議等開催状況(8.4以降)
今後の日程

■第4回三役会

日 時／令和5年12月27日(水) 10:00～
場 所／事務所協会事務局(Web会議)
出席者／会長、副会長、専務理事
議 題／議 事
協議事項
「県との意見交換会」提出議題について
令和5年度県外研修の実施について
建築士事務所全国大会(鳥取・島根大
会)の特別協賛金について
報告事項
第45回建築士事務所全国大会(鳥取・
島根大会)の実施結果について
令和6年度日事連建築賞の実施について
会議等開催状況(11.13以降)
今後の日程

■正副委員長会議

日 時／令和5年6月14日(水) 16:00～
場 所／エキパル倉吉
出席者／会長、副会長、各委員会正副委員長
議 題／1、委員会等事業計画の検討
2、各委員会の主たる議題
(1)総務・企画委員会
●会員の増強等組織拡充の取り組み
●苦情の解決業務の実施
●令和5年「第45回建築士事務所全
国大会(鳥取・島根大会)の実施に
向けた調整

- 行政機関との相互連携及び事業推進に係る業務協力
 - その他
- (2)広報・編集委員会
- 協会の広報活動
 - 令和5年度 建築士事務所のキャンペーン実施
 - その他
- (3)業務・技術委員会
- 「建築士定期講習」(法定講習)の開催(建築士会と共催)
 - 「開設者・管理建築士のための管理研修会」(知事指定講習)の開催
 - 業務・技術に関する講習、講演会、視察等の検討
 - 建築工事特記仕様書の編集・発行
 - 高齢者居住住宅の改修事業への協力
 - 適合証明業務講習会の開催
 - 特定建築物の定期調査等の推進
 - その他

講習会

■令和5年度一級/二級/木造建築士定期講習(第1期)

日 時/令和5年5月31日(水)9:30～
場 所/伯耆しあわせの郷
受講者/25名

■令和5年度一級/二級/木造建築士定期講習(第4期)

日 時/令和6年2月22日(木)9:30～
場 所/伯耆しあわせの郷
受講者/32名

■「既存住宅状況調査技術者」講習【新規講習】

《会場講習》
日 時/令和5年11月30日(木)9:20～
場 所/伯耆しあわせの郷
受講者/3名

■「既存住宅状況調査技術者」講習【更新講習】

《会場講習》
日 時/令和5年12月8日(金)9:20～
場 所/伯耆しあわせの郷
受講者/15名

■適合証明技術者業務講習

《会場講習》
日 時/令和5年12月8日(金)13:30～
場 所/伯耆しあわせの郷
受講者/15名
《オンライン講習》
期 間/令和5年8月2日～8月15日
受講者/1名
期 間/令和5年9月13日～9月26日
受講者/1名
期 間/令和5年10月25日～11月7日
受講者/1名
期 間/令和6年1月22日～1月31日
受講者/1名

■開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会

日 時/令和5年10月31日(火)10:00～
場 所/伯耆しあわせの郷
受講者/8名

建築物耐震診断等評定業務

■第68回鳥取県耐震診断等評定委員会

日 時/令和5年11月28日(火)
場 所/事務所協会事務局(Web会議)
対象建物(県有、民間施設)2棟

■鳥取県耐震診断等評定委員会(専門委員会)

第68回 令和5年11月10日(事前審査)
令和5年11月15日(指摘事項確認)

受託業務

■鳥取市住宅改修指導員派遣事業

実施件数 令和5年度 6件

■各市・町 木造住宅耐震診断業務(令和6年2月現在)

鳥取市50件、倉吉市24件、米子市25件、境港市29件、岩美町2件、八頭町3件、北栄町5件、三朝町1件、伯耆町1件

■鳥取県木造住宅耐震化専門業者公表考査

日 時/令和6年2月15日(木)13:10～
場 所/伯耆しあわせの郷
参加者/15名

会員の異動

■正会員入会(令和5年4月～)

合同会社一級建築士事務所 山印
〒683-0805 米子市西福原4-5-50
TEL:080-1010-8174
開 設 者:田中 浩二
管理建築士名:田中 浩二

■賛助会員入会(令和5年4月～)

(株)鳥取CLT
〒683-0351 西伯郡南部町法勝寺70
TEL:0859-39-6888
FAX:0859-39-6885
担当者名:中西 康夫

日本ハイコン(株) 米子営業所
〒683-0854 米子市彦名町4500
TEL:0859-29-0561
FAX:0859-29-4870
担当者名:齋藤 忠典

行事予定

■5月

7日(火) 令和5年度事業等監査会
13日(月) 第1回三役会
17日(金) 第1回理事会
31日(金) 令和6年度定時総会
倉吉シティホテル

編集後記

昨秋開催された全国大会(鳥取・島根大会)に全国から参加された方々は、秋の山陰をととても満喫された様です。個人的にも県外から参加した酷評家の先輩も、「風光明媚なところで温泉に酒と食事が美味しく、とても良い大会だった。」と申しておりました。このたびの全国大会が盛況の内に終えられたのも、皆様の結束力の強さだと思います。

そして迎えた元旦、夕暮れ近くに能登半島を襲った地震。その被害の大きさに、改めて大地が秘めた破壊力に驚きました。甚大な被害を受けた「能登の里山里海」の復興には長い時間を要する事が予想されます。しかし、これをチャンスと捉えその価値の尊さを多くの方々に再認識頂き、さらに魅力あふれる地域になるよう、地元を挙げて再生に取り組まれると思います。

結びにあたり、このたびの“建築とっとり”104号発行にあたりましては、事務局を始め委員の方および協会員・賛助会員の多数の方々ご協力有難うございました。

広報編集委員長 丁 田 勝 功



表紙の写真は、現在建設中の鳥取県立美術館です。
自然豊かな倉吉の特性を、読みこなされた形体となっていると思います。
現場は多くの建設従事者の方々により、着実に竣工に向かっていきます。
周辺を歩いていると、春の陽気からか従事する皆さん自信に満ち溢れた、とても良い表情をされている事に気がきます。
(文：丁田 勝功)

建築とっとり 2024.3 第104号

発行／一般社団法人 鳥取県建築士事務所協会

〒680-0022 鳥取市西町2丁目102 西町フロインドビル2F
TEL.0857-23-1728 FAX.0857-21-6112

URL: <http://31kjk.com> E-mail: jimu31@kdt.biglobe.ne.jp

編集：広報編集委員会